



令和2年12月27日 市長体験に当選された皆さんと記念撮影をしました

ごあいさつ

令和4年1月7日

新年あけましておめでとうございます。

今年も元気に健康で、笑顔で頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年、本市は市制施行10周年を迎え、今年は、新たな10年に向けスタートする年となります。同時に、これから10年間のまちづくりの指針となる「野々市市第二次総合計画」も間もなく策定を迎えます。

「かがやき無限大 みんなでつくる インパクトシティののいち」本市がめざす10年後の将来都市像です。県内自治体の中で面積が最も小さくコンパクトな本市ですが、6万人近くの皆さんがお住まいになり、さまざまな魅力や可能性が詰まっていることが強みであると感じています。何よりも、市民の皆さんが生き生きと元気に活躍される姿は、まさに「野々市らしさ」の象徴であると思っています。

この将来都市像には、無限の可能性を秘め、市内外にインパクトを与えることができる本市の魅力を市民の皆さんと一緒に磨き上げていくことで、さらに輝きあふれる野々市市を目指していきたいという思いが込められています。

市民の皆さんとともに、元気な野々市を発信していきたいと思いますので、さらなるご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

昨年9月にデジタル庁が創設され、国を挙げて社会全体のデジタル化が進められています。「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という言葉もいろいろなところで耳にし、聞き慣れてきました。最新のデジタル技術を取り入れ、人々の暮らしを快適にしている「DX」は、本市におきましても、市民の皆さんの利便性向上や市政運営の効率化を図り、最良の行政サービスを行うためには、大きな可能性を秘めた分野であると認識しております。

本市において、その先進的な取り組みとして、電子回覧板や地域の情報発信のツールとしてスマートフォンアプリ「結ネット」の導入があります。今ではすべての町内会で導入され、さまざまな場面で活用されています。

庁舎内でもペーパーレス化を進めるなど、新しい時代の波に乗り遅れることなく、地元の大学や企業の皆さんからのご協力もいただきながら、積極的な市政運営に取り組んでいきたいと考えております。